※令和４年度以降入学生用

学校番号	309

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　精選古典探究（第一学習社）						
副教材等	これからの古典文法〔改訂版〕（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、周りの人と協同で考える活動を行う。
・１年次に身に着けた知識を用い、様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、論理的に「考える力」を身につけること。
・家庭学習における課題は、定期的に提出とする。最後まであきらめずに取り組みましょう。
・授業中のノートは、授業のポイントや、自身で気づいたこと、クラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入するなど、後で見た時に、授業内容がわかるように工夫して書くこと。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	史伝を読んで登場人物の言動を押さえ、古代中国の理想的政治のあり方について理解を深める ［教材］ 『十八史略』	a：史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 b［ 読 ］：作品の成立背景をふまえて、内容の解釈を深める。 c：積極的に史伝を読み、登場人物の関係を整理しようとしている。	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期テスト	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期テスト	行動の観察 発言 ノート ワークシート リフレクションシート
	漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを通して考えを広げる。 ［教材］ 「中国の詩」	a：漢詩の特徴について理解を深める。 b［ 読 ］：漢詩を鑑賞して、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 c：漢詩の表現や技法への理解を深めるとともに、作品にこめられた作者の思いを進んで読み取ろうとしている。	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期テスト	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期テスト	行動の観察 発言 ノート ワークシート リフレクションシート
	さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ［教材］ 『徒然草』 『方丈記』	a：古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 b［ 読 ］：作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 c：作品に表れた無常観を粘り強く読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期テスト	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期テスト	行動の観察 発言 ノート ワークシート リフレクションシート
	中世随筆という文章の種類をふまえて、古典特有の無常観に注意して内容を的確に捉える。 ［教材］ 「言語活動」 （無常観の表現）	a：我が国の文化の特質について理解を深める。 b［ 読 ］：鴨長明『方丈記』の表現について分析したうえで、無常観という観点で兼好法師『徒然草』と比較をする。 c： 今までの学習を生かして、『方丈記』と『徒然草』を読み比べ、わかったことを積極的に伝え合おうとしている。	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期テスト	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期テスト	行動の観察 発言 ノート ワークシート リフレクションシート
	軍記物語という文章の種類や和漢混交文という古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ［教材］ 『平家物語』	a：古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 b［ 読 ］：軍記物語を読んで、登場人物の行動と、それを支える思想や歴史的背景を理解し、考えを深める。 c：軍記物語を思想的背景・歴史的背景に注意しながら読み、積極的に自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期テスト	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期テスト	行動の観察 発言 ノート ワークシート リフレクションシート

※令和４年度以降入学生用

2	説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 ［教材］ 『古今著聞集』	a：古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辞について理解を深める。 b［ 読 ］：著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。 c： 和歌の修辞について理解し、学習の見通しをもって調べたり発表しようとしたりしている。	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期テスト		行動の観察 発言 ノート ワークシート リフレクションシート
	歌物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ［教材］ 『伊勢物語』 『大和物語』	a：歌物語の特徴について理解を深める。 b［ 読 ］：物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 c： 学習の見通しを持って歌物語を読み、文章の中で和歌が重要な役割を果たす歌物語の特徴について、理解を深めようとしている。			行動の観察 発言 ノート ワークシート リフレクションシート
	随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ［教材］ 『枕草子』	a：・我が国の文化の特質や、外国の文化との関係について理解を深める。 b［ 読 ］：日記的章段を読んで、作者と中宮定子との関係性を読み解くとともに、当時の宮廷生活に関する理解を深める。 c：学習の見通しをもって日記的な随筆の章段を読み、進んで登場人物同士の関係性を読み解こうとしている。	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期テスト	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期テスト	行動の観察 発言 ノート ワークシート リフレクションシート
	古典に表れる服装と色から、我が国の文化について考えを深める。 ［教材］ 「言語活動」 （貴族の衣服と色）	a：古典に表れる服装と色について語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b［ 読 ］：古典に表れる服装と、現代の服装とを結び付け、考えを深める。 c：古典に表れる事柄について自分たちの生活に引きつけて考えたことを、積極的に伝え合おうとしている。	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期テスト	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期テスト	行動の観察 発言 ノート ワークシート リフレクションシート
	長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ［教材］ 『源氏物語』	a：主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 b［ 読 ］：歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。 c：内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期テスト	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期テスト	行動の観察 発言 ノート ワークシート リフレクションシート

※令和４年度以降入学生用

3	史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ［教材］ 『史記』	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[　読　]:登場人物の描写を読み解くことを通して、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深める。 c:各場面の展開を整理し、登場人物の言動から、それぞれの心情や性格を進んで捉えようとしている。	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期テスト	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期テスト	行動の観察 発言 ワークシート リフレクションシート
	和歌という文章の種類や古典特有の表現に注意して、内容を的確に捉える。 ［教材］ 『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』 「俳句」	a:　和歌の修辞などの表現の特色について理解を深める。 b[　読　]:　わが国の伝統文化の一つである和歌の表現の特色を理解し、和歌流れに沿ってを鑑賞する。 c:題詞や歌の背景を参考にしながら作品に表れている情景や心情を読み取り、和歌を積極的に鑑賞しようとしている。	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期テスト	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期テスト	行動の観察 発言 ワークシート リフレクションシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　１０５　）時間